

## 天野 利彦 AMANO Toshihiko

あまの としひこ

職位	専任教授
取得学位	文学修士（昭和59年3月）筑波大学
最終学歴	筑波大学大学院博士課程文芸・言語研究科単位取得満期退学
専門分野	欧米文化研究、記号学、国際情報学
主な担当科目	情報デザインプロジェクト演習、情報デザインプロジェクト応用演習、英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ、英語Ⅳ、国際理解A、文化学、多文化理解、シンボルと人間行動
研究テーマ	世の中にあふれている様々なシンボルについて、その機能や歴史的背景、文化的価値の考究、およびグローバリズムが地域社会に及ぼす影響についての研究
所属学会	Royal Institute of International Affairs

## 教育・研究内容

目まぐるしく変化し続けている現代日本社会の中で、一方で歴史に根ざして不易の人間の価値を表象し続けているシンボルの研究、他方で社会変化の方向を左右する諸条件の分析を行っています。

## 著書

- |   |                     |        |        |
|---|---------------------|--------|--------|
| 1 | フランス文化のこころーその言語と文学ー | 平成5年2月 | 駿河台出版社 |
|---|---------------------|--------|--------|

## 学術論文

- |    |  |          |  |
|----|--|----------|--|
| 1  | 「パルク」の目覚めと言葉   | 昭和58年7月  | 筑波大学フランス語・フランス文学論集 第1号   |
| 2  | ポール・ヴァレリーの言語観(修士論文)  | 昭和59年3月  | 筑波大学大学院博士課程文芸・言語研究科  |
| 3  | Narcisse Parle/Narratrice Parque   | 昭和59年10月 | 筑波大学フランス語・フランス文学論集 第2号   |
| 4  | ポール・ヴァレリーにおける向他動作性の概念  | 昭和60年3月  | 東海大学短期大学紀要 第18号  |
| 5  | 言語の多領域を貫通する「力」についての覚書  | 昭和62年6月  | 筑波大学大学院言語文化研究会発行 テオリア 第1号  |
| 6  | ヴァレリー「詩学」の一面   | 平成元年3月   | 『静岡学園短期大学研究報告』第1号  |
| 7  | ヴァレリー言語思想の一面   | 平成元年5月   | 日本記念学会編都市・建築・コスモロジー／記号学研究9(東海大学出版会)  |
| 8  | Paul VALERY の或る友人  | 平成3年3月   | 『静岡学園短期大学研究報告』第3号  |
| 9  | 《Les Pas》解釈の統合に向けて   | 平成7年3月   | 『静岡学園短期大学研究報告』第7号  |
| 10 | 『風車小屋便り』の記号学的読解  | 平成9年3月   | 『静岡学園短期大学研究報告』第10号   |
| 11 | A Case Study of the Effectiveness of Distance Learning Materials in Higher Education and Suggestions for Improvement (高等教育における遠隔教育の有効性事例と改善提案) | 平成11年10月 | 1999 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics October 12-15, 1999, Tokyo International Forum, Tokyo, Japan |
| 12 | 「移行性」と「滞留」(『海辺の墓地』に見るヴァレリー詩学の一面)(査読付)  | 平成19年2月  | 『静岡産業大学情報学部研究紀要』第9号  |
| 13 | 大学の社会貢献活動先進事例の研究(査読付)  | 平成22年3月  | 『静岡産業大学情報学部研究紀要』第12号   |
| 14 | 静岡におけるキャッシュレス化推進による誘客力の強化に関する調査研究  | 令和2年3月   | 『公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム令和元年度共同研究助成事業成果報告書』  |
| 15 | 「藤枝セレクション」のブランド力向上と発信力強化   | 令和3年3月   | しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業  |

## 学会発表

1	ポール・ヴァレリーの言語観の問題点	昭和61年3月	中部言語学会1986年度第1回定例研究会 (於静岡大学)
2	La transitivite, l'heterogeneite et l'implete	昭和63年5月	日本記号学会(於学習院大学)

## 口頭発表

1	静岡におけるキャッシュレス化推進による誘客力の強化に関する調査研究	令和2年2月	第5回ふじのくに地域・大学フォーラム共同研究助成事業(於静岡理工科大学)
---	-----------------------------------	--------	--------------------------------------

## 書評

1	ブック・ガイド:佐藤信夫著 『意味の弾性:レトリックの意味論へ』	昭和62年1月	大学進学研究Vol.VIII-5、No.47
---	-------------------------------------	---------	------------------------

## 翻訳

1	原著者: Gerard GENETTE 邦訳表題:「限定された修辞学」in『フィギュールⅢ』	昭和62年4月	書肆風の薔薇
---	---	---------	--------

## 依頼講演等

1	平成9年度静岡県外国語指導講師中間期研修会講師	平成9年11月	静岡県
2	平成10年度静岡県外国語指導講師中間期研修会講師	平成10年11月	静岡県
3	平成11年度静岡県外国語指導講師中間期研修会講師	平成11年11月	静岡県
4	藤枝商工会議所IT講習会講師	平成12年5月	藤枝商工会議所
5	平成12年度静岡婦人文学講座講師「J-P. サトル『一指導者の幼年時代』」	平成12年7月	静岡婦人文学講座
6	藤枝法人会IT講習会講師	平成12年8月	藤枝法人会
7	藤枝異ライオンズクラブIT講習会講師	平成12年10月	藤枝異ライオンズクラブ
8	藤枝青色申告会IT講習会講師	平成12年11月	藤枝青色申告会
9	藤枝市IT講習会講師	平成13年2月	藤枝市
10	平成13年度静岡婦人文学講座講師「J. H. ボルヘス『伝奇集』」	平成13年7月	静岡婦人文学講座 (会員による自主講座)
11	平成13年度静岡婦人文学講座講師「カレル・チャペック『ロボット』」	平成13年10月	静岡婦人文学講座 (会員による自主講座)
12	藤枝商工会議所シニアIT講習会講師	平成15年7月	藤枝商工会議所
13	平成16年度静岡婦人文学講座講師「ケラー『村のロメオとジュリア』」	平成16年7月	静岡婦人文学講座 (会員による自主講座)
14	平成19年度静岡婦人文学講座講師「コクトー『大股びらき』」	平成19年5月	静岡婦人文学講座 (会員による自主講座)
15	平成19年度静岡婦人文学講座講師「レッシング『賢人ナータン』」	平成19年6月	静岡婦人文学講座 (会員による自主講座)
16	平成20年度静岡婦人文学講座講師「アイリーン・チャン『ラスト、コーション』」	平成20年5月	静岡婦人文学講座 (会員による自主講座)
17	平成20年度静岡婦人文学講座講師「バルザック『知られざる傑作』」	平成20年6月	静岡婦人文学講座 (会員による自主講座)
18	平成20年度静岡日仏協会フランス語フランス文化講座講師	平成20年7月～ 平成20年9月	静岡日仏協会
19	平成21年度静岡婦人文学講座講師	平成21年5月	静岡婦人文学講座 (会員による自主講座)
20	平成21年度静岡日仏協会フランス語フランス文化講座講師	平成21年9月	静岡日仏協会
21	平成22年度静岡日仏協会フランス語フランス文化講座講師	平成22年7月	静岡日仏協会
22	令和元年度第2回藤枝産学官連携懇話会講師 「国際情報の読み方と外国人との付き合い方」	令和元年8月	静岡産業大学

## その他(社会活動等)

---

- 1 昭和53年4月 日本ボーイスカウト静岡県連盟藤枝第2団指導者(現在に至る)
- 2 平成14年4月 藤枝市社会教育委員(平成21年4月まで)
- 3 平成15年4月 日本ボーイスカウト静岡県連盟志太地区協議会委員(現在に至る)
- 4 平成15年4月 静岡県立静岡西高等学校学校評議員(平成18年3月まで)
- 5 平成18年4月 静岡県立藤枝東高等学校学校評議員(平成21年3月まで)
- 6 平成20年4月 静岡県立大井川高等学校評議員(平成21年3月まで)
- 7 平成21年5月 藤枝市立総合病院治験審査委員(現在に至る)
- 8 平成27年4月 藤枝市日中友好協会会長(現在に至る)
- 9 平成27年4月 静岡県日中友好協会理事(現在に至る)
- 10 平成29年5月 一般社団法人日英協会会員(現在に至る)
- 11 令和元年12月 第2次藤枝市文化マスタープラン策定懇話会委員長(令和3年3月まで)